

カタクチイワシ（地方名：しらす）

1 生態

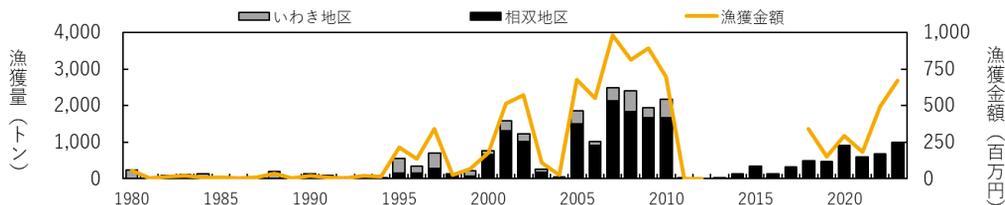
- ・福島県で漁獲される「しらす」は大部分がカタクチイワシの仔魚です。
- ・カタクチイワシの分布域は九州～北海道の太平洋沿岸域、黒潮・黒潮続流域、黒潮親潮移行域、親潮域、沖合は東経170度付近まで及びます。
- ・カタクチイワシ仔魚の成長速度は平均0.5mm/日と推定されており*、1ヶ月ほどで約20mmに成長し、シラスとして漁獲加入します。
- ・1歳で成熟するとされており、産卵はほぼ周年行われます。
- ・主に動物プランクトンを食べます。

*平成19年度事業概要報告書(福島県水産試験場)



2 漁業に関する情報

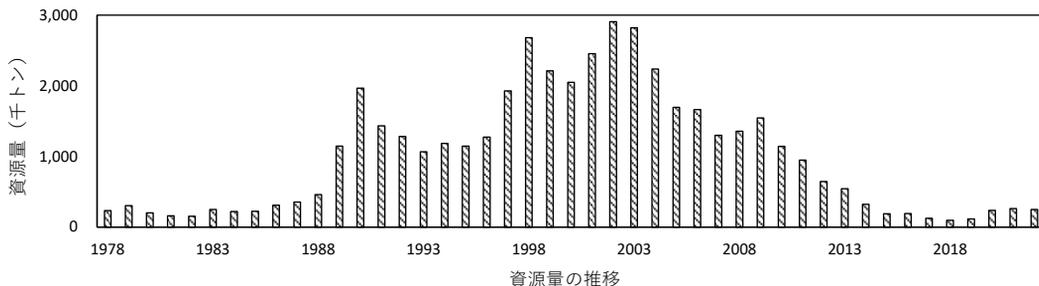
- ・機船船びき網で漁獲されています。主な漁期は7～12月です。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2013年（平成25年）8月から再開されています。
- ・2023年（令和5年）の漁獲量は990トン、金額は673百万円でした。



地区別漁獲量と漁獲金額の推移 *2013～2017年まで相対取引のため金額データ無

3 資源の状態

- ・資源水準：低位 資源の動向：増加
- ・国による令和6（2024）年度の資源評価によればカタクチイワシ太平洋系群の資源水準は低位ですが、増加傾向にあります。



「令和5（2023）年度カタクチイワシ太平洋系群の資源評価」より上図を作成

4 資源管理の取組み

- ・資源管理の取組みは特に行われておりません。